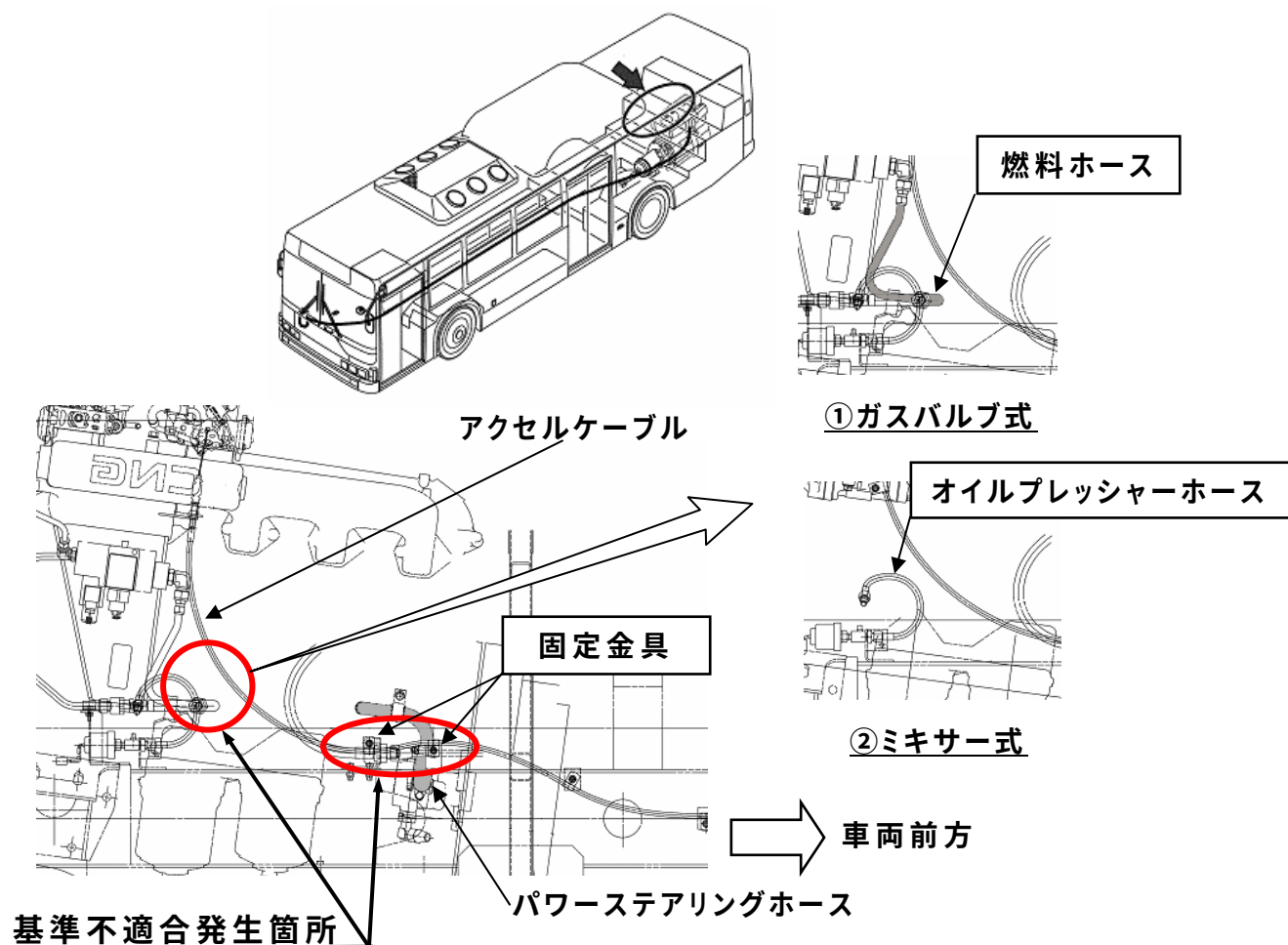


改善箇所説明図



- 基準不適合発生箇所**
- ① ガスバルブ式 CNG エンジンを搭載した大型バスのアクセルケーブルの取り廻しが不適切なため、燃料ホース又はパワーステアリングホースと当該ケーブルとの隙間が不十分なものがある。
そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の振動等により燃料ホース又はパワーステアリングホースが損傷し、最悪の場合、燃料ガスが洩れ原動機が停止して再始動不能となる、又は、パワーステアリングオイルが漏れステアリングの操舵力が過大となるおそれがある。
 - ② ミキサー式 CNG エンジンを搭載した大型バスのアクセルケーブルの取り廻しが不適切なため、オイルプレッシャーホース又はパワーステアリングホースと当該ケーブルとの隙間が不十分なものがある。
そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の振動等によりオイルプレッシャーホース又はパワーステアリングホースが損傷し、最悪の場合、オイルゲージが作動しなくなる、又は、パワーステアリングオイルが漏れステアリングの操舵力が過大となるおそれがある。

改善内容

- ① 全車両、アクセルケーブルに固定金具を追加し、取り廻しを変更する。
また、燃料ホースを新品と交換する。
- ② 全車両、アクセルケーブルに固定金具を追加し、取り廻しを変更する。
また、オイルプレッシャーホースを対策品と交換する。

注：□ は点検修正部、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB-31」の文字が記載された白黄色シールを貼り付ける。